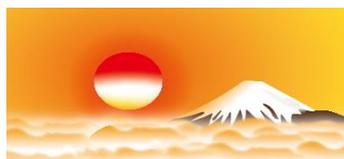


わたづ便り 第5号

「わたづコミュニティ協議会」発行 平成30年1月
江津市渡津町658-1 TEL&FAX ; 0855-52-2569

渡津の人口/世帯数 (12月末日現在)
()内は11月末日との比較)
人口: 1861人 (+5)
男: 878人 (+3)
女: 983人 (+2)
世帯数: 896戸 (0)

年頭のご挨拶



わたづコミュニティ協議会
会長 藤田 映範

平成30年の新春を迎え謹んで皆様のご健勝をお喜び申し上げます。今年も協議会活動へのご理解、ご協力よろしくお願ひします。

さて、昨年4月に発足した「わたづコミュニティ協議会」(以下「協議会」)は2年目を迎え今年には正念場です。ここでもう一度原点に戻り、なぜ公民館から「協議会」になったのか、何が変わるのかを考えたいと思います。

地方はどこも人口減少と少子高齢化で地域社会の活力を失いつつあります。こうした流れを止めるべく、江津市は地域活性化のため、都会からの移住、企業誘致、子育てサポート、事業公募などの施策を取ってきました。しかし、活力低下と人口減に歯止めはかかっておりません。渡津地区の人口も2011年12月末2080人でしたが昨年2017年12月末には1861人、6年間で219人(-10.5%)も減っております。毎年平均36人減ったこととなります。

そこで江津市はこれらの問題への対応は行政だけでは不十分と考え、地域住民も一体になっての問題解決のために市内20ヶ所全ての公民館をコミュニティ・センターとし、協議会制を採り入れたのだと思います。具体的には、社会教育関連や非営利活動に限定されていた活動制限を撤廃し、「協議会」という新たな組織とコミュニティ・センターと言う場所を使って地域住民が楽しみ元気の出る活動や営利事業も自由にやってもいいですよということにしました。更に市は地域の活性化に資する(営利)事業・活動促進のための予算(「実践事業交付金」)も用意しています。

このように制度の器はできました。これからは良質な中身をどう盛り付けしてゆくかアイデア勝負です。まず(営利)事業については、身の回りの役に立ちそうな資源を探します。例えば、元気なシニア世代、耕作放棄地、空き家、空き地の柿や栗の木、迫る竹林、畑を荒らすイノシシ、そして豊かな自然と江の川などなど。こうした資源と先の「交付金」を使って利益のでる事業を組み立て、その利益を少しでも事業参加者に分配できないか。

例えば、昨年の文化祭では大元地区の元気なシニア6~7人が干し柿を作り販売した事例が

ありました。空き家の柿の木で毎年放置されていたものを所有者の了解を取り、たわわになった実を採取し渋を抜き、商品にしました。それが11月の文化祭の店頭に並びました。また、近年健康に良いと評価のピーナッツとその栽培に適した砂地の多いことに着目し、個人で栽培・自家焙煎し商品としこれも店頭に並びました。干し柿もピーナッツも完売でした。いずれもまだ小さな試みですが、住民による新しい事業の芽を感じます。

これらの活動をさらに発展すべく、コミュニティ・センターを月例の市場として無料開放し、野菜、果物、魚、雑貨、衣類、古本、包丁研ぎ、庭の剪定や中高生のアルバイト便利屋さん（重いものの移動、エアコンの清掃、高い場所や窓の清掃等々）の紹介などの自由市場にすることも可能です。以前江津市にも通称「市場通り」があり、市内でも一番にぎやかな場所でしたが、その再現が目指すイメージです。市場には人、モノ、情報が集まり人々を元気にし、地域を活性化する機能があるのです。この月例市場はほんの一例ですが、そのほか良いアイデアなどありましたらお聞かせ下さい。いいものはどんどん実施してゆきます。

一方、営利でなく元気の出る活動を工夫されているところもあります。例えば百歳体操は現在4つの自治会で週1回行われていますが、体操で汗を流した後は頭の体操サロン（社交場）に変身、お茶を飲みながら小1時間ほど世間話をし、様々な情報交換や事業・ボランティア活動の話がされているところもあります。集会場を体と頭の体操のため有効に使用することも大切です。

年頭から少し硬い話になりましたが、やってみようと思われる方、良いアイデアなどありましたら、先に述べた市の「実践事業交付金」の件も併せて相談に乗りますので、コミュニティ・センターまでご連絡ください。今年も元気の出るアイデアお待ちしております。

12月・1月の活動実績

1) 第4回 慶老者教室

12月12日（火）、昨年好評だった「NPO法人しまねコーチズ」の代表理事 溝部 俊也さんに再度来て頂き、おもしろいお話とボールを使ったゲームなどを楽しみました。



溝部さんの巧みな話術に場が盛り上がる



昨年好評で是非今年もとの声が多かった

2) 子供広場（クリスマス会）

12月14日（木）クリスマス会を開催しました。皆で個性的なカードとケーキを作りました。クリスマスの雰囲気盛り上げ、ケーキを前日から用意して下さった藤田久美子さん他ボランティアの皆さんありがとうございました。



クリスマスカードよくできました



最後に各自で作ったケーキを頂きました

3) サタデースクール（2学期最終回）

12月16日（土）は今年最終回。今年も皆よく頑張ったので、勉強の合間ボランティアさんが美味しい豚汁とおにぎりそしてデザートを用意して下さいました。前日からの準備もチームワーク良く進み、お米の差し入れもありました。勉強の後頂き、おかわりも続出。青木禮子さん他ボランティアの皆さんありがとうございました。3学期も頑張りましょう。

4) 児童たちと餅つき

12月26日「子供広場」とコミュニティ・センター共催で、もうほとんどの家庭見られなくなった餅つきが行われました。ボランティアさんが前日から餅米を仕込み、臼を借りてきて、つき方は土井前館長さんのご指導で実現しました。つき終わった後、まだ温かいきな粉とあべかわ餅を美味しく頂きました。



毎年餅つきは土井前館長が指導



めずらしい体験に児童たちも興奮気味

5) 消防団 出初式

1月7日は毎年恒例の出初式、午前9時から総合市民センターでの式典の後、江の川の郷田側で放水式が行われ、今年の消防団員の安全が祈願されました。渡津地区の消防団は以下の通りです。各自仕事を持ちながらの活動で大変とは思いますが、住民の生命にかかわる大切な活動です。団員の皆さん「常在戦場」でよろしくお願ひします。1部は塩田、2部は嘉戸、3部は渡津、4部は長田の各地区担当となっています。

分団長 佐々木啓之

副分団長 佐々木博和

1部部長 檜本 純
同副部長 森脇 祐介
同部員 山根 宣朗
“ 室常 健人
“ 檜本 徹
“ 山下龍之介
“ 檜本 誠

2部部長 村尾 亨
同副部長 湯谷 学
同部員 永井啓次郎
“ 平田 洋幸
“ 大野 勇輝
“ 津田 裕貴



3部部長 横山 孝人
同副部長 川本 朋和
同部員 田形 功一
“ 藤田 昭二

4部部長 寺本真一郎
同副部長 長迫 一浩
同部員 西谷 修
“ 本川 峰之
“ 森川 結介
“ 森脇 亘
“ 岩本 二郎

2月・3月の主要活動予定

- 1) 2月 慶老者教室 (詳細は追ってお知らせします)
- 2) 2月16日(土) 確定申告相談
- 3) 2月24日(土) サタデースクール
- 4) 3月10日(土) サタデースクール (3学期最終回)



編集後記

今月号は本来2月初め発行ですが、「年頭のご挨拶」もあり少し早めに発行しました。もうすぐ梅の季節です。雪の降る中ひっそりと咲く梅の花は春を予感させてくれます。そして艶やかに咲き誇る桜の季節になります。今年も暖かい季節までもう少しの辛抱です。日々の健康管理に気を付け、コミュニティ・センターの活動・事業にご参加下さい。元気のでるプログラムを用意します。また、ボランティア活動参加希望の方もご連絡ください。皆様の提言・意見も取り入れ、「元氣な渡津」にしたいと思ひますのでご協力よろしくお願ひします。